



**北川 嘉昭**  
【1期生】  
(荒川区役所)

公務員だけ、議員だけ、若手だけといった勉強会は沢山ありますが、様々な立場の人が渾然一体となって学べる場はここだけ。得られた知識とネットワークは生涯の財産になります。



**内藤 達也**  
【1期生】  
(国分寺市役所)

少子高齢化や財政危機等により社会経済の両面で急激な変化を迎えています。この時代の自治体経営には様々な政策課題への解決能力が求められるが、それを備え理論武装させてくれるところがここにあります。加えてこのガバナンスには現在も助けられています。



**菊池 宏江**  
【3期生】  
(日光市役所)

大学院では、教授から理論を学び、その理論の活用について、市区町村長、公務員、議員、民間の方々との多角的な視点で議論しました。そこで得た知識を多に活用し実務に励んでいます。卒業後もさまざまなネットワークでつながっており、いまでも研鑽が続いています。



**片田 保**  
【3期生】  
(みずほ情報総研(株))

公共経営を専門に仕事をしていますが、もう一度、体系的に学び直すために大学院に通いました。中でも最大の収穫は「人脈」で、各界の多様な人材が学び交流する場が魅力です。修了後も一緒に学んだ仲間たちとの交流は続いていて、今も刺激的な生活を送っています。



**万年 直子**  
【4期生】  
(蕨市役所)

自身の知識や感性を豊かにする必要性を感じつつ、気力・体力の面で大学院に通えるか不安を感じている方がいたら、その心配はいりません。ここは知識と意欲の充電源です。



**藤巻 祐一**  
【4期生】  
(東日本旅客鉄道株式会社)

実務や海外経験の豊富な教員から学んだ知識とノウハウ、そして、大学院で構築した人脈が、職業人としての人生を豊かなものにしてくれます。この研究科で学んだ知識を活かせる場合は、行政機関だけではありません。知識をひろく社会で活用してください。



**久保田 久和**  
【6.5期生】  
(東京都庁)

ガバナンス研究科は、優れた教授陣と充実した学習環境、利用しやすい立地条件が魅力です。仕事では得られない知識と、共に学ぶ仲間とのネットワークなど大きな財産になりました。



**真野 毅**  
【6.5期生】  
(兵庫県豊岡市 副市長)

民間企業から公募で副市長に就任し、企業経営との違いについて学ぶために、週末片道6時間を使って通学しました。それぞれの立場を超えた平場の議論を通じて、公共経営の現状と未来像を学ぶことができました。



**津賀 正晶**  
【7期生】  
(東京ガス株式会社)

本研究科の魅力は、経験豊富な教授陣のもと、異なった分野の人々が一同に集い、共に議論しながら新しい社会運営の手法を学ぶことです。この場で学んだことが、実践に即生かされています。



**山影 聡香**  
【7期生】  
(市川市役所)

幅広い行政のスペシャリストになりたいと思い、入学しました。授業は、新しいことを知る喜びと、知識を吸収する楽しさを感じる充実したものでした。そして、魅力的な教授陣や、仕事も立場も年齢も異なる仲間との出会いは、入学しなければ得られなかった財産です。



**柏山 卓智**  
【7.5期生】  
(厚生労働省)

仕事だけでは得られない知識や出会い。そして、自分はその財産をどのように仕事や社会に活かせるのかを日々模索しています。吸収だけでなく、実践という挑戦が待っている。公共政策大学院の醍醐味がここにあります。



**松下 ゆかり**  
【8期生】  
(掛川市立曾我小学校[事務職員])

ここの最大の魅力は、経験豊かな教授をはじめ職種や年齢、立場の違う仲間に出会えることです。また、たくさんの知識や理論を吸収することができます。この研究科で勉強できた2年間は私の財産です。



**佐藤 潤**  
【8期生】  
(社団法人代表理事)

ボランティアマネジメントが主な研究テーマの私にとり、研究成果を実践されている先生方が多くいらっしゃる当研究科での少人数の講義は大変に充実していました。社会の力、市民の力で社会を変えられる可能性を確信できた、有意義な学校生活でした。



**永田 裕一**  
【10.5期生】  
(株)北見ハッカ通商 代表取締役)

北海道からの通学与会社経営の両立は相当な労力でしたが、本研究科で得られた知見は、企業として地域社会にどう関与するのか、大きなヒントを与えてくれました。それらは既に地域組織の運営にも生かされています。



**岩瀬 賢信**  
【11期生】  
(森ビル株式会社)

まちづくりは、建物の整備だけではなく、防災・環境・コミュニティ等様々な分野に関わりを持ちます。民間の立場で入学し、公共政策の考え方を学ぶことで、まちづくりを多面的・俯瞰的に考えるいい機会となり、自分の視野が広がりました。公共政策大学院は、民間の立場だからこそ得られるものが沢山詰まっています。